

2号 2020 春

通巻 145号



発行 東谷山校区コミュニティ協議会
発行人 梶島 奉文
発行所 鹿児島市魚見町124-1
東谷山小学校内
東谷山校区公民館
TEL 099-298-5983
E-mail higatani53@po5.synapse.ne.jp
HPアドレス https://higatani53.com/



専門部会だより

まちづくり部会

コミュニティ協議会広報誌「ひがし谷山創刊号」を、令和2年9月に発行し、今般、2号刊をお届けすることが出来ました。これからも、年2回の発行を目指していきます。
昨年末に実施しました「まちづくりアンケート」には町内会員から千通を超えるご回答を頂きまして、誠にありがとうございました。
皆様からの貴重なご意見を参考に、来年度策定予定の「まちづくりプラン」に生かしていきたいと考えています。

福祉、安全部会

東谷山校区社会福祉協議会だよりを装いも新たに『福祉ひがたに』Vol 36として、発行しました。校区の全世帯に届くようにリビング新聞社を通して配布しました。
子育て中の親子を中心とした地域住民が気軽に無理なく自由に集い、子育ての相談や情報交換、趣味の活動などを通して子育てを楽しみ仲間づくりを行う、ふれあい活動の子育てサロン（亀さんクラブ）をこのコロナ禍で開催を見合わせていましたが、9月から3密を回避しながら再開しました。

12月には親子でクリスマス工作を楽しみ、サンタさんからのプレゼントもあり、大変喜ばれました。

社会体育部会

社会体育部は、活動方針に「校区民の親睦と健康の保持増進を目的に、体育・保健行事の推進を図るとともに、生涯スポーツの支援・推進を図る」を掲げ東谷山コミュニティ協議会発足とともにスタートしました。

年度当初に、5月シニアグラウンドゴルフ大会、8月校区球技大会、10月校区大運動会、11月ふれあいグラウンドゴルフ大会とふれあいゴルフ大会を計画しましたが、すべての行事をコロナウイルス感染防止のために中止としました。

来年度も校区民の親睦と健康、さらにコロナウイルス感染防止を考えながら、さまざまな行事を計画したいと思えます。どのような形になるか分かりませんが、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

青少年育成部会

青少年育成部では、子供たちの笑顔を作り、その笑顔を守る活動をしていきたいと考えています。主な活動は、これまで、東谷山校区運営審議会で企画運営されてきました青少年健全育成大会、たこ揚げ大会、餅つき大会になります。どの活動も、社会教育部会やPTA、あいご会、おやじの会等の協力をいただき運営する行事です。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で軒並み中止となりましたが、来年度以降もこれまでと同様に子供たちの笑顔のために地域全体で盛り上げていきたいと考えています。

東谷山校区コミュニティ協議会の設立にあたって、青少年育成部では、新たな行事として、立志式や半成人式の企画も検討いたしました。コロナ禍なので立志式は、子供たちに自分の夢や目標を募集する形にしましたので、何らかの形で発表したいと考えています。来年度以降は、校区の生徒が集まって、夢を語り合い宣言できるフル規格の立志式と半成人式にしたいと考えています。

これからも地域の皆様の、積極的なご協力、ご参加をよろしくお願い致します。

社会教育部会

社会教育部は、生きがいを持ち、学ぶ喜びを実感できる地域作りのため歴史・文化の継承や生涯学習の推進を目指しています。昨年はコロナの影響で校区の文化祭である育成大会が中止になりました。来年度以降は、より発展した文化祭となるよう検討をしていきます。



転倒予防・交通安全教室

昨年10月17日、東谷山小学校の体育館で「転倒予防・交通安全教室」を開き、約80人が参加しました。鹿児島市安心安全課などと連携し、少子化対策や健康寿命を伸ばすこと、安心安全なまちづくりをどのように進めるかを保健師などの市の職員から講話を聞き、学ぶことができました。

転倒予防、脳の活性化に効果的な「らくらく体操」などの実演、「酔酩眼鏡」を用いた酒酔い体験など、日々の生活の中で気をつけたいといけないことを体験を通して理解することができました。



協議会看板設置

昨年11月、東谷山コミュニティ協議会のスローガンを地域の皆様にお知らせするために、協議会の看板を東谷山小学校校庭バックネット近くの道路脇に設置しました。裏面地図でご確認ください。



「SDGs」みんなで学んで取り組みましょう

SDGs エスディジーズ（持続可能な開発目標）17の目標が掲げられています。その中で私たちに身近な項目は、14.海の豊かさを守ろう…まずはプラスチックごみを減らそう！現在レジ袋の有料化に取り組んでいます。海の生き物を苦しめている現実を目の当たりにします。意識を持って自分が作ったごみは、自分で責任を持って家のごみ箱まで持ち帰りましょう。一人ひとりができることです。

東谷山校区コミュニティ協議会が発足して約十ヶ月が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症対策により、発足時から様々な行事が中止や延期、規模縮小による活動を余儀なくされました。



住んでよかった校区と学んでよかった学校づくりを指して
お祝いの言葉をいただきました。
しかし、校区の皆様は、「こんな時だからこそ」と新しい生活様式にのっとって、予防の徹底に努めながら様々な活動に取り組んでおられると聞いております。

中学校でも、授業や学校行事等は、密を避け、マスク着用・手洗い・うがいははじめ、感染症対策を行っています。残念ながら中止や延期、開催方法を見直しての実施を余儀なくされました。それでも、生徒たちは、熱心に授業で学び、学校行事も全力で取り組んでいました。

この生徒たちの積極的な姿勢と笑顔が、新型コロナウイルス感染症の収束後には、必ず校区や学校に元氣と笑顔を運んでくれると思えます。
これからも、私たち中学校は、東谷山校区に住んでよかったと言ってもらえる街づくりに寄与し、学んでよかったと思える中学校づくりに邁進していきたいと思えます。

あらためまして、東谷山校区コミュニティ協議会発足おめでとうございます。



地域を見守るパトラン隊

近年、子供たちへの不審者からの声かけ事案など、校区周辺で不審者情報が多発しています。そのような状況に危機感を抱いて、東谷山小学校おやじの会『ヒガタニピース』のOBの大木健太郎がヒガタニピースへ声かけて、『パトランヒガタニ』を立ち上げました。パトランとは、パトロールランニングの略で、パトロールをしながらランニングをしようという活動です。全国的におやじの会を中心に広がっている活動です。

きっかけは、新型コロナウイルス感染症で自宅自粛太りを解消するためにランニングを始めましたが、どうせ走るなら校区の公園のパトロールをしながら取り組んでみようと思ったからです。

鹿児島市の防犯パトロール隊へ登録して、おそろいのパトランヒガタニTシャツを作成しました。現在、22名で活動中です。ランニングやウォーキングを楽しむ校区の方には、ぜひご参加いただき、子供たちの見守り活動を行っていただきたいと考えています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、現段階では個人それぞれでの活動になっており、いまだ、全員が集まったの、合同パトランは出来ていませんが、今後は、子供たちの登下校時に合同パトロールをしたいと考えています。（青少年育成部 大木 健太郎）